

2021年12月期 第2四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned above the letter 'G'.

AGC株式会社

2021年8月2日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2021年12月期 第2四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.5
2. セグメント別・地域別の状況	P.12
■ 2021年通期業績見通し	P.18
■ 中期経営計画	P.25
AGC plus-2023 進捗状況	
附属資料	P.36

2021年12月期 第2四半期業績

2021年12月期第2四半期（累計）：

		(従来予想比)	(前年同期比)
売上高	8,113 億円	(+113億円)	(+1,568億円)
営業利益	952 億円	(+102億円)	(+746億円)

- ・建築用ガラスの出荷増および販売価格が想定以上に上昇
- ・塩化ビニル樹脂の販売価格が4/12発表時の想定を上回る

2021年12月期通期見通し：

		(従来予想比)	(前年同期比)
売上高	16,700 億円	(+200億円)	(+2,577億円)
営業利益	1,800 億円	(+200億円)	(+1,042億円)

- ・塩化ビニル樹脂の市況が想定より高いレベルで推移するため、再度上方修正

■株主還元

- ・業績予想の上方修正に伴い、年間配当額を見直し
- ・北米建築用ガラス事業の事業譲渡による一時収益に対応した特別配当を行う予定

1. 業績のポイントと主要項目

2021年12月期 第2四半期業績

(億円)

	FY2020 1-2Q累計	FY2021 1-2Q累計	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高	6,545	8,113	+ 1,568*	(+) 自動車用ガラス、建築用ガラスの出荷増加 (+) ライフサイエンス製品、半導体関連製品の出荷増加 (+) 東南アジアにおける塩化ビニル樹脂、建築用ガラスの販売価格上昇 (+) ユーロ高
営業利益	206	952	+ 746	上記に加え、 (+) ガラス製造設備の稼働率改善に伴う製造原価低減 (-) 液晶用ガラス基板や半導体関連製品の新規設備立ち上げ等に伴う減価償却費増加
税引前利益	165	971	+ 807	上記に加え、 (+) 為替差益を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	114	638	+ 524	
為替レート (期中平均)				
JPY/USD	108.27	107.70		
JPY/EUR	119.30	129.83		
原油(Dubai,期中平均)	USD/BBL	40.64	63.47	

* うち、為替差影響は+233億円、連結範囲変更の影響は+24億円

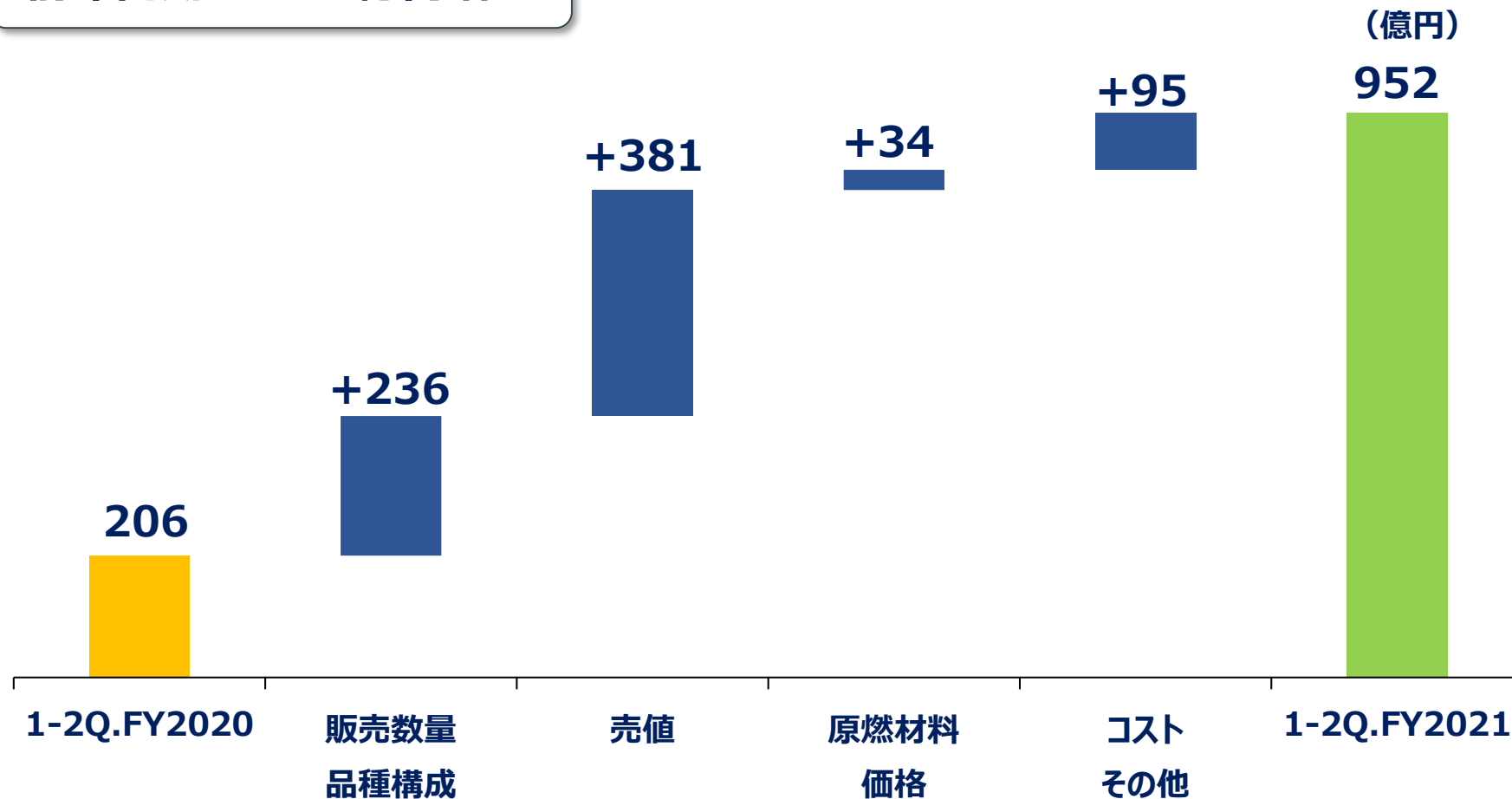
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2020 1-2Q累計 (a)		FY2021 1-2Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	ガラス	2,942	▲ 208	3,717	203	+ 775
電子	1,386	174	1,415	140	+ 29	▲ 34
化学品	2,124	227	2,881	595	+ 757	+ 368
セラミックス・その他	382	14	367	16	▲ 15	+ 2
消去	▲ 289	▲ 1	▲ 268	▲ 2	+ 21	▲ 1
連結合計	6,545	206	8,113	952	+ 1,568	+ 746

営業利益増減要因分析(1-2Q.FY2021 vs. 1-2Q.FY2020)

前年同期比 746億円増益



(億円)

	2020/12	2021/6	増減
現金及び現金同等物	2,361	2,481	+ 119
棚卸資産	2,748	3,003	+ 254
有形固定資産・無形 資産及びのれん	14,376	14,967	+ 590
その他	5,859	6,359	+ 500
資産合計	25,345	26,809	+ 1,464
有利子負債	7,880	7,565	▲ 314
その他	5,035	5,429	+ 395
負債の部	12,914	12,995	+ 80
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,151	12,381	+ 1,229
非支配持分	1,279	1,434	+ 155
資本の部	12,430	13,815	+ 1,384
負債及び資本合計	25,345	26,809	+ 1,464
D/E比率	0.63	0.55	

為替差影響
+847億円

(億円)

	1-2Q累計	
	FY2020	FY2021
税引前利益	165	971
減価償却費及び償却費	722	796
運転資金増減	37	▲ 175
その他	191	97
営業活動によるCF	1,115	1,690
投資活動によるCF	▲ 1,044	▲ 925
フリーキャッシュフロー	70	765
有利子負債増減	2,801	▲ 515
支払配当	▲ 133	▲ 133
その他	▲ 6	▲ 53
財務活動によるCF	2,663	▲ 701
現金等に係る換算差額	▲ 45	56
現金等の増加額	2,688	119

(億円)

1-2Q累計

FY2020 FY2021

	FY2020	FY2021
設備投資額	1,116	1,033
ガラス	282	251
電子	364	342
化学品	465	431
セラミックス・その他	6	12
消去	▲ 0	▲ 3
減価償却費	722	796
ガラス	260	270
電子	238	280
化学品	214	236
セラミックス・その他	10	10
消去	▲ 0	▲ 0
研究開発費	219	238

【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資（電子）
- ・半導体関連製品製造設備増強（電子）
- ・フッ素関連製品能力増強（化学品）
- ・東南アジア塩ビ能力増強（化学品）
- ・バイオ医薬品能力増強（化学品）

など

【主な減価償却費増加要因】

- ・半導体関連製品製造設備増強（電子）
- ・ディスプレイ中国G11投資（電子）

など

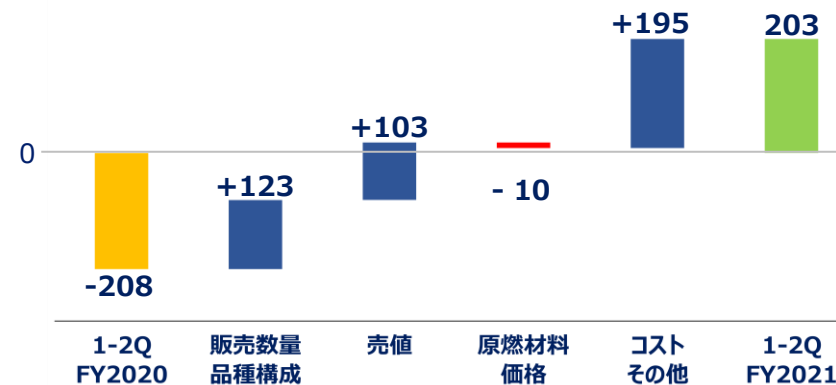
2. セグメント別・地域別の状況

(億円)

	1-2Q累計		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	2,942	3,717	+ 775*
建築用ガラス	1,507	1,883	+ 376
自動車用ガラス	1,423	1,822	+ 399
(セグメント間)	12	12	
営業利益	▲ 208	203	+ 411

* うち、為替差影響は+145億円、連結範囲変更の影響は+0.4億円

営業利益増減要因分析



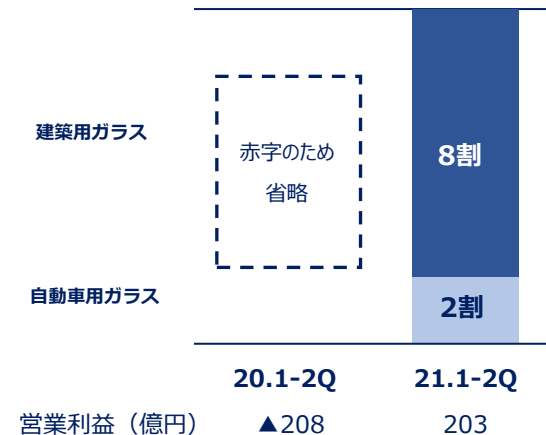
〔建築用ガラス〕

- ・ 欧州、インドネシアを中心に出荷が大幅に増加
- ・ 欧州、南米での販売価格が上昇
- ・ 欧州を中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減

〔自動車用ガラス〕

- ・ 半導体不足の影響を受けたものの、全ての地域で自動車生産台数が増加し、出荷が増加
- ・ 日ア、欧州を中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減

営業利益構成比 (共通費配賦前)

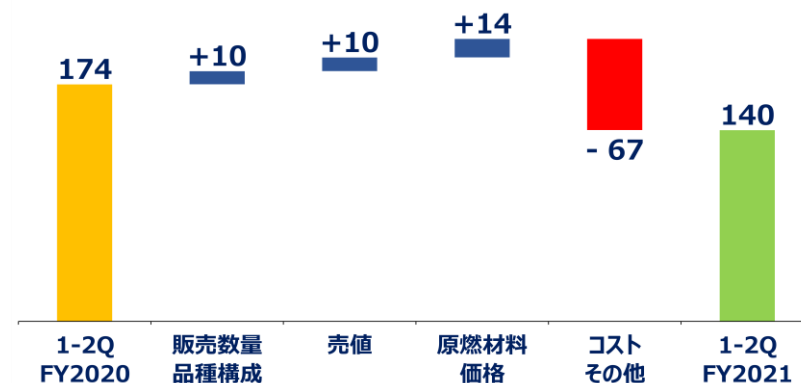


(億円)

	1-2Q累計		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	1,386	1,415	+ 29*
ディスプレイ	866	889	+ 23
電子部材 (セグメント間)	485	487	+ 2
営業利益	174	140	▲ 34

* うち、為替差影響は+13億円、連結範囲変更の影響はなし

営業利益増減要因分析



〔ディスプレイ〕

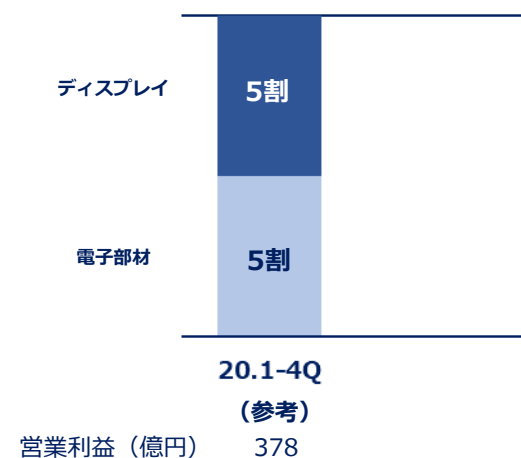
- ・ 液晶用ガラス基板の出荷は前年同期並み、ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は増加
- ・ 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加
- ・ 為替の影響による製造原価上昇

〔電子部材〕

- ・ オプトエレクトロニクス用部材の出荷は前年同期並み
- ・ EUVマスク blanks等の半導体関連製品の出荷は増加
- ・ プリント基板材料は米中貿易摩擦の影響などにより出荷が減少
- ・ 半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)

季節性を含め変動が大きいため、年間で内訳を開示

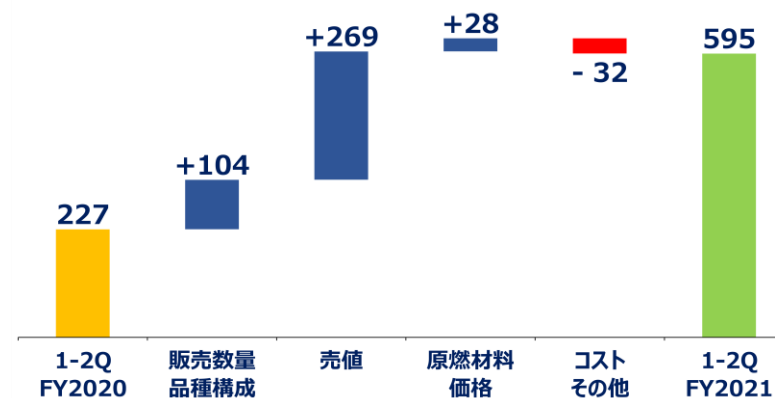


(億円)

	1-2Q累計		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	2,124	2,881	+ 757*
クロールアルカリ・ウレタン	1,254	1,762	+ 508
フッ素・スペシャリティ	529	568	+ 39
ライフサイエンス	333	545	+ 212
(セグメント間)	8	7	
営業利益	227	595	+ 368

* うち、為替差影響は+71億円、連結範囲変更の影響は+23億円

営業利益増減要因分析



〔クロールアルカリ・ウレタン〕

- ・ 東南アジアで塩化ビニル樹脂の販売価格が上昇

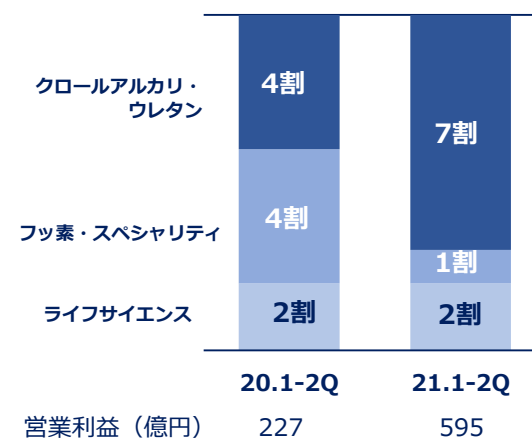
〔フッ素・スペシャリティ〕

- ・ 自動車向けフッ素関連製品の出荷は回復基調が継続
- ・ 航空機向けフッ素関連製品の出荷は低調に推移

〔ライフサイエンス〕

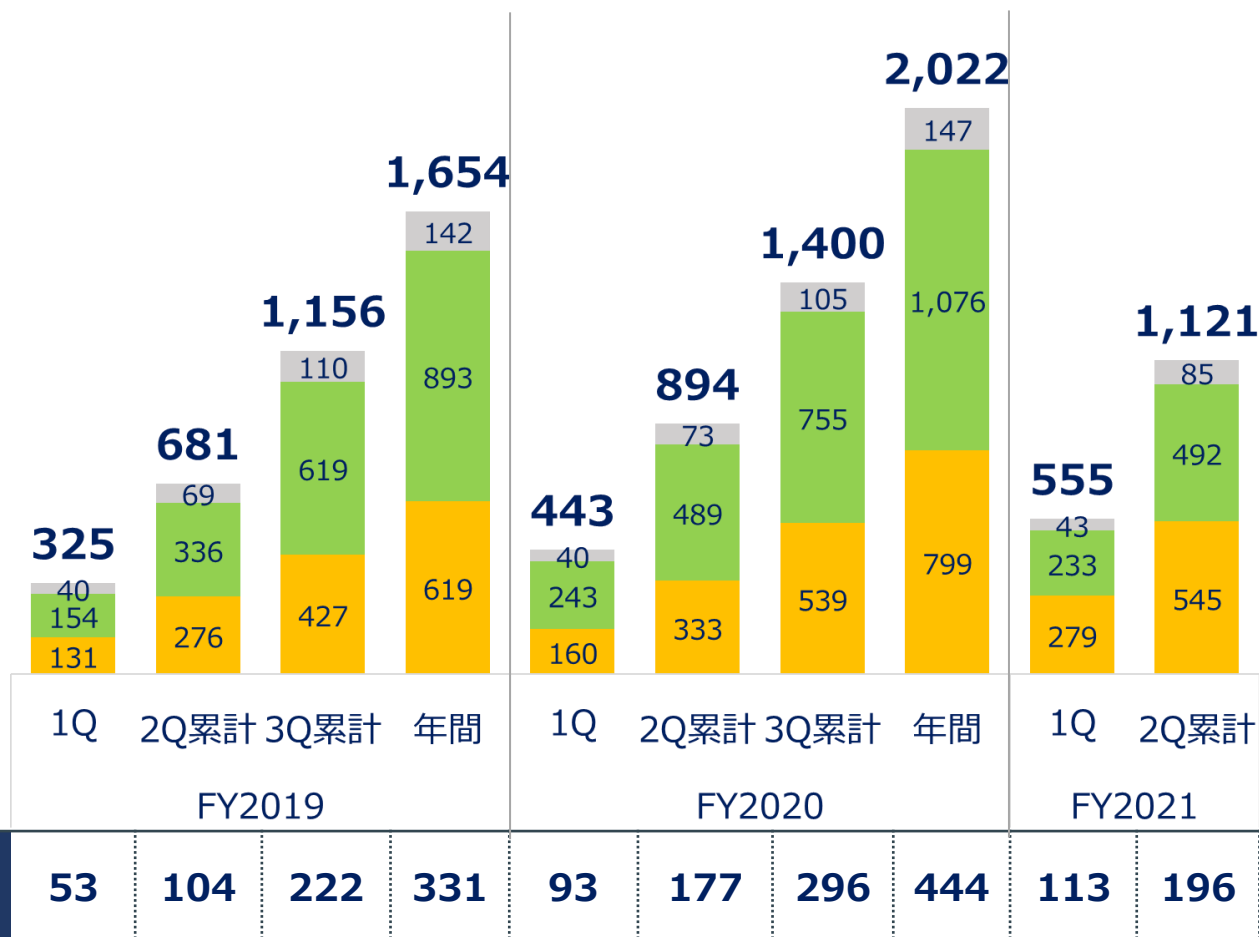
- ・ 合成医農薬は受託件数が増加
- ・ 買収および設備投資による能力増強に加え、新型コロナウイルス関連でバイオ医薬品の受託件数が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)



■ ライフサイエンスを中心に、順調に推移

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

- モビリティ**
 - ・車載ディスプレイ用カバーガラス
 - ・モビリティ新規部材 (含5G通信)
- エレクトロニクス**
 - ・半導体関連部材
 - ・オプトエレクトロニクス用部材
 - ・次世代高速通信用部材
 - ・エレクトロニクス用フッ素製品
- ライフサイエンス**
 - ・合成医薬
 - ・バイオ医薬

(億円)

地域別業績 前年同期比較

	1-2Q累計		(億円)
	FY2020	FY2021	
売上高	6,545	8,113	+ 1,568
日本・アジア	4,431	5,257	+ 827
アメリカ	682	895	+ 214
ヨーロッパ	1,433	1,961	+ 528
営業利益	206	952	+ 746
日本・アジア	419	837	+ 418
アメリカ	▲ 17	72	+ 88
ヨーロッパ	▲ 24	231	+ 256
地域共通費用	▲ 172	▲ 187	▲ 16

為替影響：
+233億円

連結範囲変更影響：
+24億円

2021年通期業績の見通し

2021年 通期業績見通し

- コロナ禍で落ち込んだ事業の業績が回復基調であることに加え、塩化ビニル樹脂の高値継続により大幅な増収増益を見込む

(億円)

	FY2020	FY2021 (4/12予想)	FY2021 (8/2予想)
売上高	14,123	16,500	16,700
営業利益	758	1,600	1,800
税引前利益	571	1,420	1,870
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	327	830	1,170
1株当たり配当 (円)	120	140	210 (普通配当160円) (特別配当50円)
営業利益率	5.4%	9.7%	10.8%
ROE	2.9%	7.4%	10.5%*
為替レート (期中平均)			
JPY/USD	106.8	109.0	108.6
JPY/EUR	121.8	129.4	129.5
原油 (Dubai,期中平均)			
USD/BBL	42.2	63.8	69.2
エチレン(CFR SEA)			
USD/MT	713	1,000	1,012

* FY2021予想のROEは、2020年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

- 今期業績予想上方修正に合わせ、配当額を再度増額修正
- 北米建築用ガラス事業の事業譲渡による一時収益に対応した特別配当を行う予定

株主還元方針

当期連結業績や将来の資金需要等を総合的に勘案しながら、連結配当性向40%を目安とした安定的な配当を継続する。また、資本効率の向上に資する株主還元策として機動的に自己株取得を行う。

(円)

		中間配当	期末配当	特別配当	年間配当	連結配当性向
FY2020		60	60	-	120	81%
FY2021 予想	期初発表	60	60	-	120	-
	4/12発表	70	70	-	140	-
	今回発表	80 (実績)	80	50	210	40%

セグメント別 業績見通し

(億円)

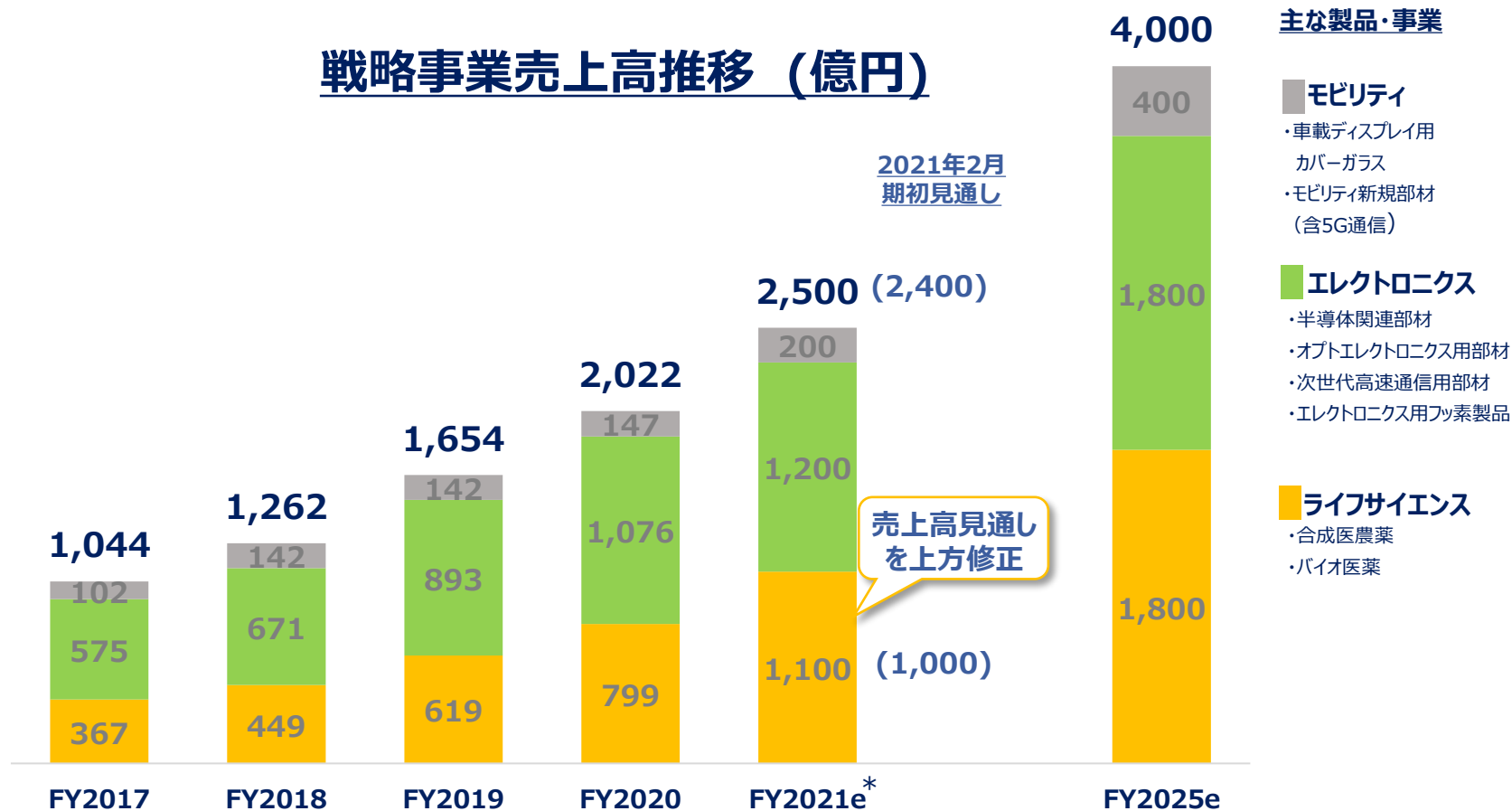
	FY2020 通期実績		FY2021 上期実績 (a)		FY2021 下期予想 (b)		FY2021 通期予想		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	6,510	▲ 166	3,717	203	3,683	147	7,400	350	▲ 35	▲ 56
電子	2,894	378	1,415	140	1,785	190	3,200	330	+ 370	+ 50
化学品	4,512	505	2,881	595	2,919	505	5,800	1,100	+ 37	▲ 90
セラミックス・その他	811	42	367	16	433	4	800	20	+ 65	▲ 12
消去	▲ 603	▲ 1	▲ 268	▲ 2	▲ 232	2	▲ 500	0	+ 36	+ 4
連結合計	14,123	758	8,113	952	8,587	848	16,700	1,800	+ 473	▲ 104

21年上期 vs 21年下期

ガラス	<p>(建築用ガラス)</p> <ul style="list-style-type: none">・欧州での季節性に伴う出荷減に加え、北米事業譲渡の影響もあり減収 <p>(自動車用ガラス)</p> <ul style="list-style-type: none">・世界の自動車生産台数は半導体不足の影響を懸念
電子	<p>(ディスプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none">・液晶用ガラス基板の出荷は、下期も堅調に推移・スマホ市場の回復に伴い、ディスプレイ用特殊ガラスは下期も堅調に推移・液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加 <p>(電子部材)</p> <ul style="list-style-type: none">・半導体関連製品およびオプトエレクトロニクス用部材は、下期にかけ出荷が増加・半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加
化学品	<p>(クロールアルカリ・ウレタン)</p> <ul style="list-style-type: none">・塩化ビニル樹脂の市況高騰はやわらぐも、高水準で推移 <p>(フッ素・スペシャリティ)</p> <ul style="list-style-type: none">・航空機向け出荷は引き続き低調に推移するも、自動車向けの需要が緩やかに回復 <p>(ライフサイエンス)</p> <ul style="list-style-type: none">・買収および設備投資による能力増強で更なる需要取り込みや新型コロナウイルス用ワクチン開発関連の受託もあり、堅調に推移

- 今年5月発表時点から変更なし
- 順調に業績拡大する見通し

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- ・車載ディスプレイ用
カバーガラス
- ・モビリティ新規部材
(含5G通信)

エレクトロニクス

- ・半導体関連部材
- ・オプトエレクトロニクス用部材
- ・次世代高速通信用部材
- ・エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- ・合成医薬
- ・バイオ医薬

戦略事業 営業利益

142	244	331	444	550	(500)	1,000
-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------

(億円)

* 2021年度戦略事業業績は2021年第1四半期発表時に上方修正

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間 (億円)

	FY2020	FY2021e
設備投資額	2,413	2,200*
ガラス	641	480
電子	807	730
化学品	952	970
セラミックス・その他	15	20
消去	▲ 2	0
減価償却費	1,437	1,600
ガラス	510	500
電子	479	600
化学品	430	480
セラミックス・その他	19	20
消去	▲ 1	0
研究開発費	464	550

【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)
- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・遺伝子治療薬工場買収(化学品)
- ・フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ・東南アジア塩ビ能力増強(化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強 (化学品)

など

* 期初見通し2,000億円から変更(電子 680億円→730億円、化学品 820億円→970億円)

中期経営計画 *AGC plus-2023* 進捗状況

■ 「2030年のありたい姿」の実現を確実にするため、以下戦略を加速

“両利きの経営”の追求

- ・戦略事業領域の事業成長を加速させるとともに、新しい事業領域(エネルギー関連領域など)を探索
- ・コア事業のうち収益性・資産効率に課題が残る建築用ガラスと自動車用ガラスは構造改革を実施
- ・その他のコア事業は収益基盤とキャッシュ創出力を強化

サステナビリティ経営の推進

- ・素材イノベーションにより社会課題解決を加速
- ・2050年にカーボンネットゼロを目指す
- ・人財とグループガバナンスを強化



DXの加速による競争力の強化

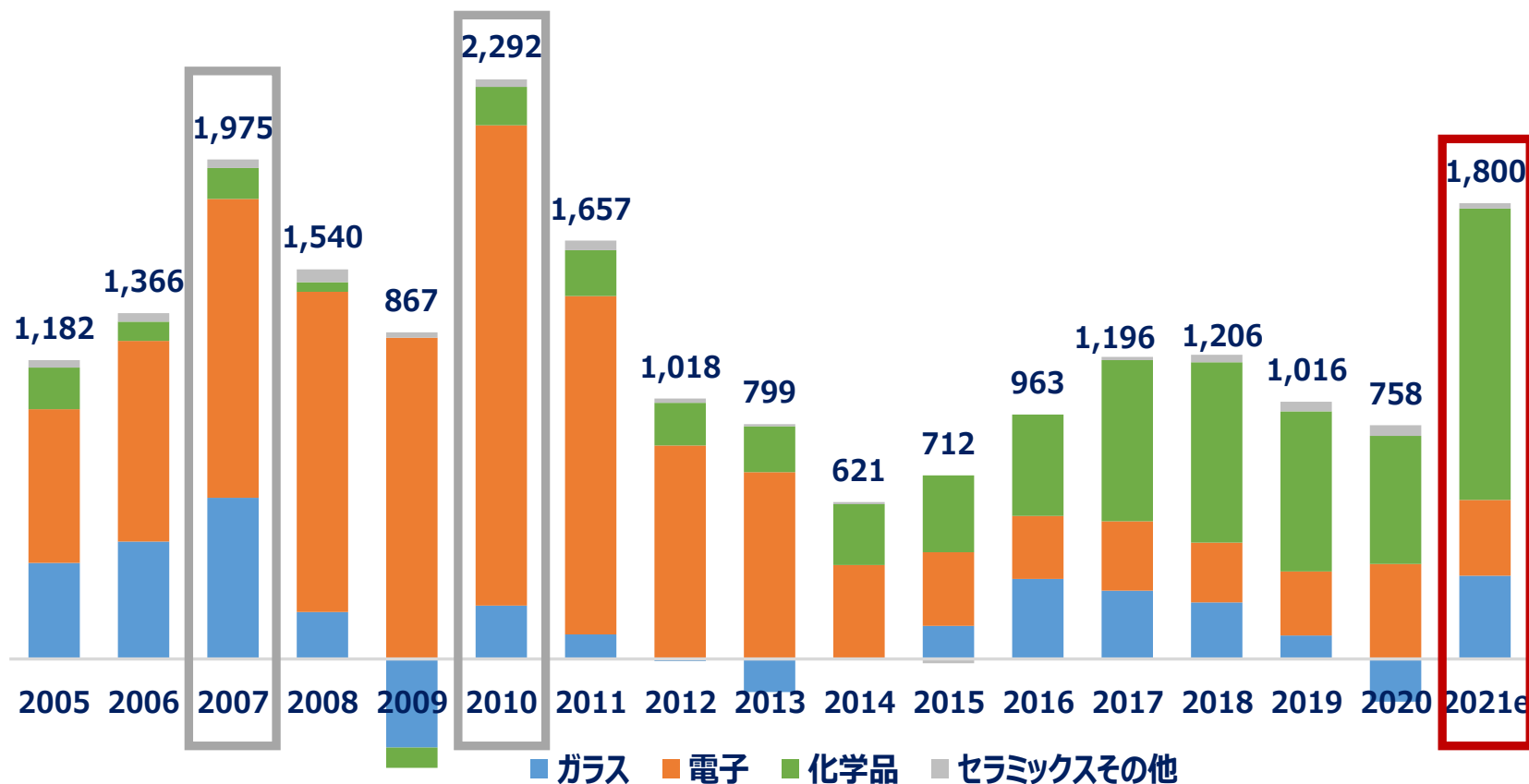
- ・ビジネスモデルの変革も見据え、開発から販売までの一連のプロセスをデジタル技術で変革
- ・デジタル技術を使い、お客様と社会に新たな付加価値を提供し、競争優位性を実現

■ 中計初年度に営業利益、ROE、D/E目標を達成する見通し

	FY2020実績	FY2023目標	FY2021見込
営業利益	758億円	1,600億円	1,800億円
ROE	2.9 %	8 %	10 %
戦略事業 営業利益	444億円	700億円	550億円
D/E比率	0.63	0.5以下	0.5以下

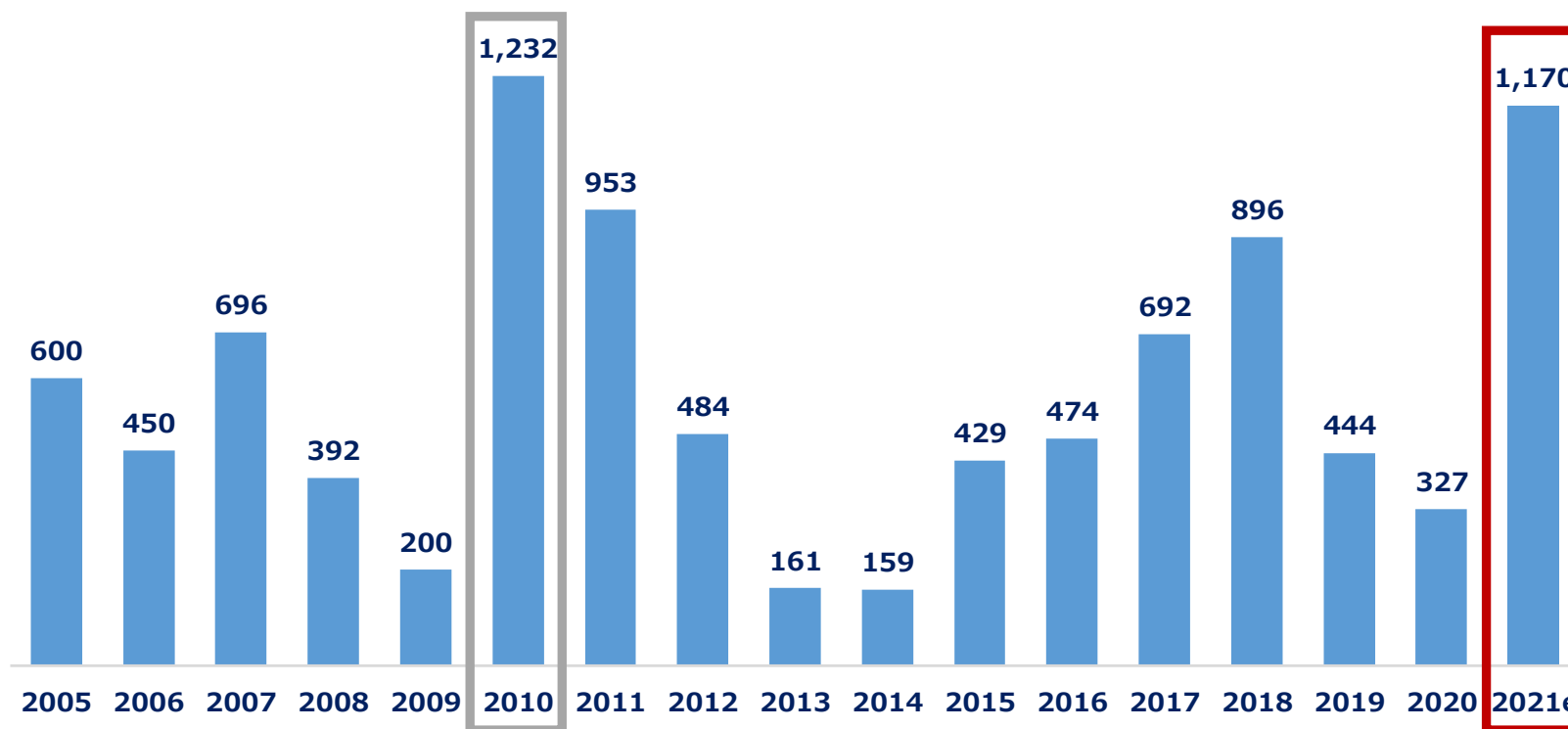
■ 今期は過去3番目に高い営業利益となる見通し

セグメント別営業利益推移（億円）



■ 親会社の所有者に帰属する当期純利益は過去2番目となる見通し

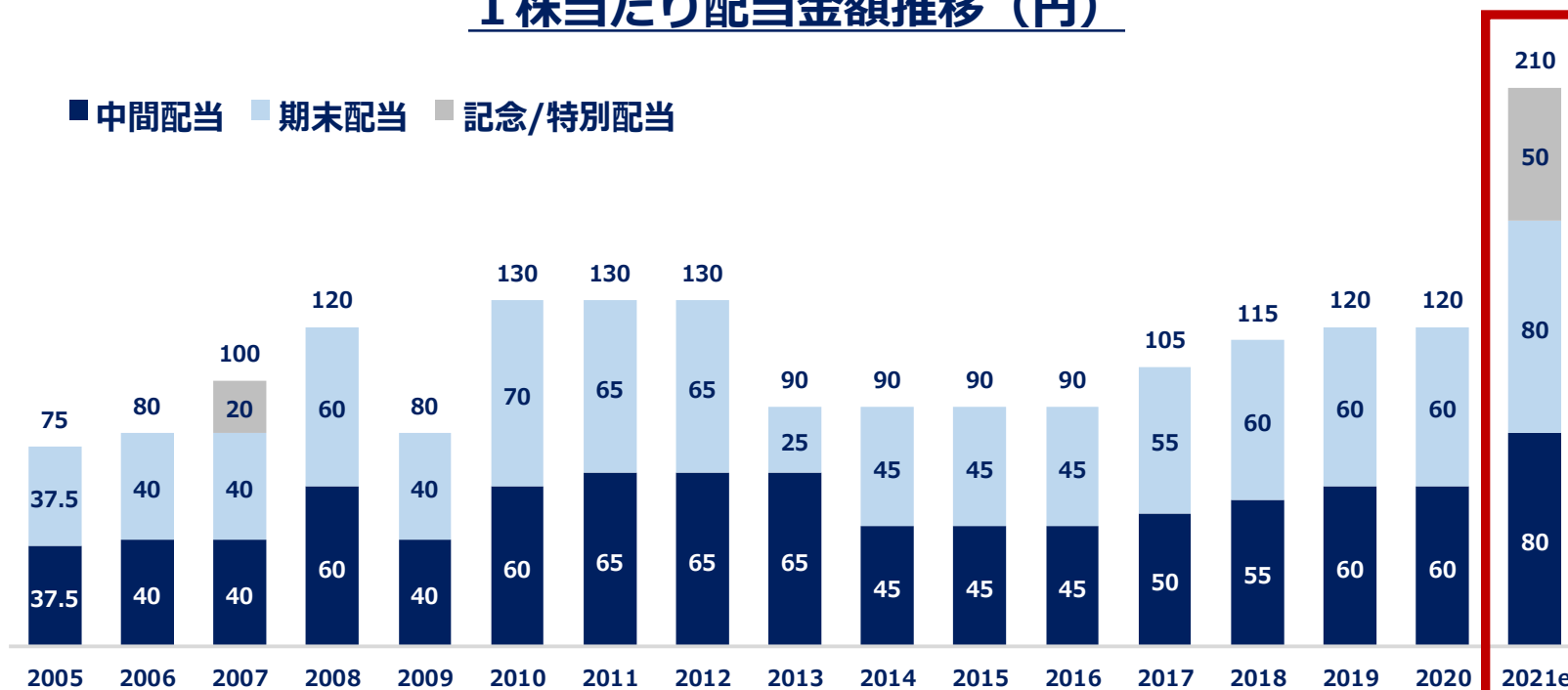
親会社の所有者に帰属する当期純利益推移 (億円)



■ 1株当たりの年間配当額は過去最高となる見通し

1株当たり配当金額推移（円）

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念/特別配当



	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021e
連結配当性向	29%	42%	34%	72%	93%	25%	32%	62%	129%	131%	48%	44%	35%	29%	60%	81%	40%

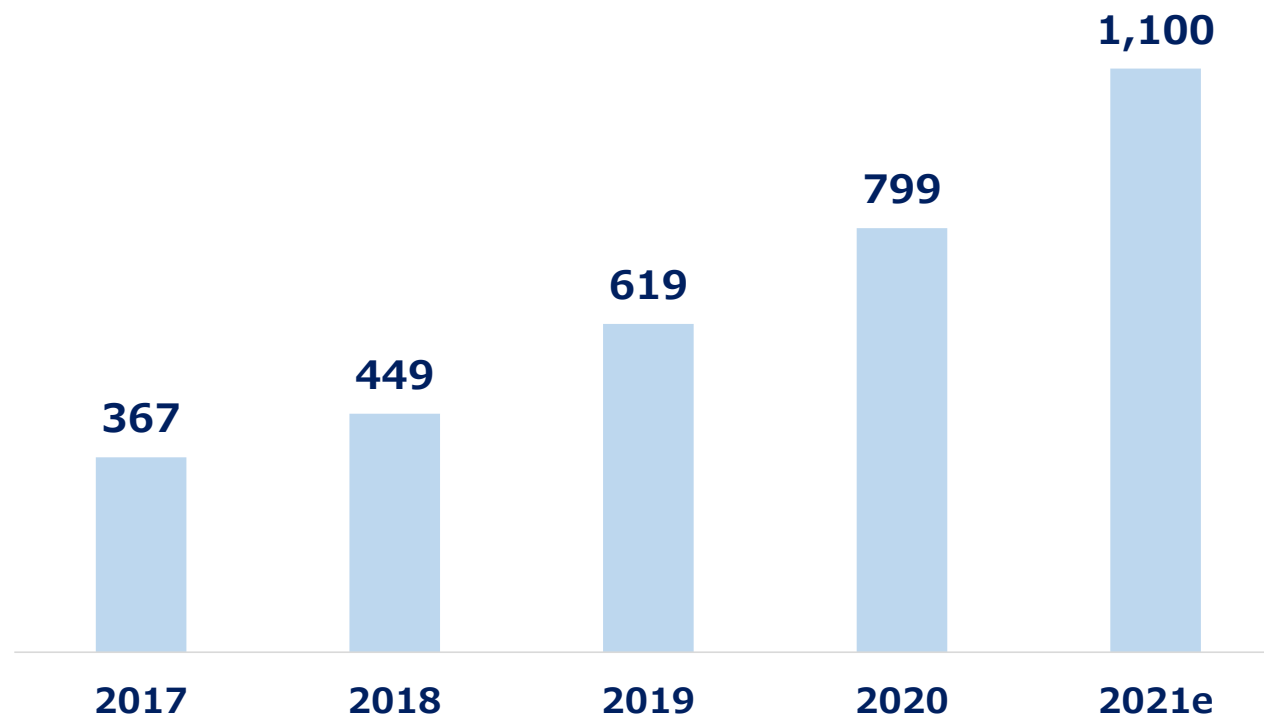
自社株取得状況

自社株取得 (億円)	-	-	-	66	-	-	82	-	-	-	-	100	150	200	-	-	-
---------------	---	---	---	----	---	---	----	---	---	---	---	-----	-----	-----	---	---	---

連結総還元性向	29%	42%	34%	88%	93%	25%	40%	62%	129%	131%	48%	65%	56%	51%	60%	81%	40%
---------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

■ 業績は順調に拡大し、収益率も向上

ライフサイエンス 売上高推移（億円）



営業利益率

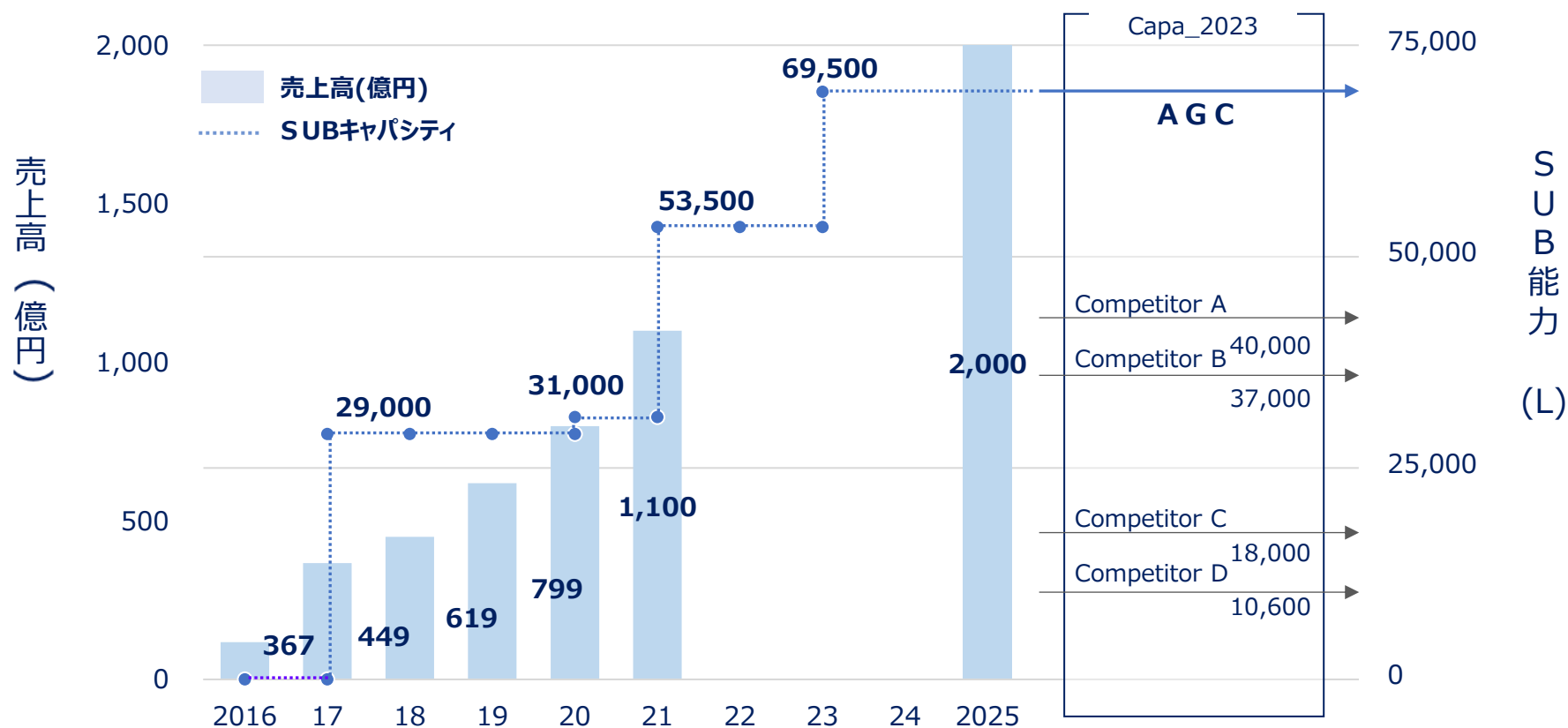
10-15%

20%程度

バイオ医薬品CDMOではSUBトップポジション

- SUB*での優位性を活かし、希少疾病・オーファン薬分野でトップポジション**
- 積極的な設備能力増強に伴い業績が拡大

ライフサイエンス売上高及びSUB能力推移



積極投資によりライフサイエンスの事業基盤を拡大

- これまで約2,000億円*の投資を行い、合成医農薬からバイオ医薬品、遺伝子・細胞治療CDMOまで事業基盤を拡大



更なる事業拡大に向け、引き続き能力増強（M&Aを含む）を進める

- AGCグループの強みと積極的な事業基盤拡大により、2025年の売上高目標を2,000億円に引き上げる（従来目標：1,800億円）

AGCグループの強み

技術力

- ・シングルユーステクノロジー
- ・次世代タンパク質精製システムの開発
- ・合成プロセスの開発力
- ・フッ素化技術

お客様ニーズに合致した生産体制

- ・欧・米・日3極で高品質のCDMOサービス提供が可能

商用医薬品の製造実績

- ・CDMOとして30年の実績
- ・FDA,EMA,PMDAなどの各種査察への対応実績

AGCグループの信頼・信用力

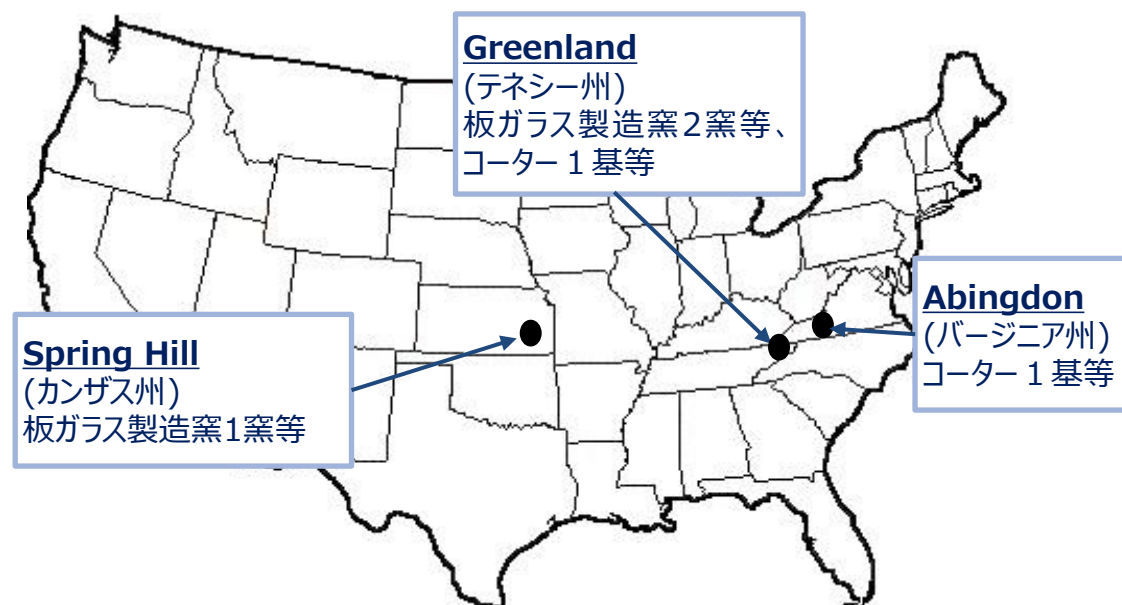
付属資料

■ 長期的・戦略的なポートフォリオの観点から、米国Cardinal Glass Industries社に北米建築用ガラス事業を譲渡

事業譲渡の概要

譲渡先	Cardinal Glass Industries
譲渡金額	USD 450百万
譲渡期日	近日中
本年度の業績影響	売上高： ▲約200億円 営業利益： ▲約 20億円 その他収益： +約250億円

事業譲渡の資産対象拠点と主要設備



強み 1

市場構造の強み

- ・ 東南アジアの高い経済成長率を背景に、塩化ビニル樹脂の域内需要は年率5%*成長
- ・ 苛性ソーダと塩素両方の製品販売力が必要なため、域内他社による大型の電解設備増強計画なし
- ・ 原料（エチレン）価格上昇を塩化ビニル樹脂価格に反映できる市場

強み 2

圧倒的な市場ポジションと強固なお客様基盤

- ・ 苛性ソーダ、塩化ビニル樹脂とも東南アジアで50%以上のシェアを確保
- ・ 1960年代にタイ、1980年代にインドネシアに進出しており、確固とした販売網と物流網を構築
- ・ 域内最大の生産能力と高い生産技術による安定供給でお客様の信頼獲得

強み 3

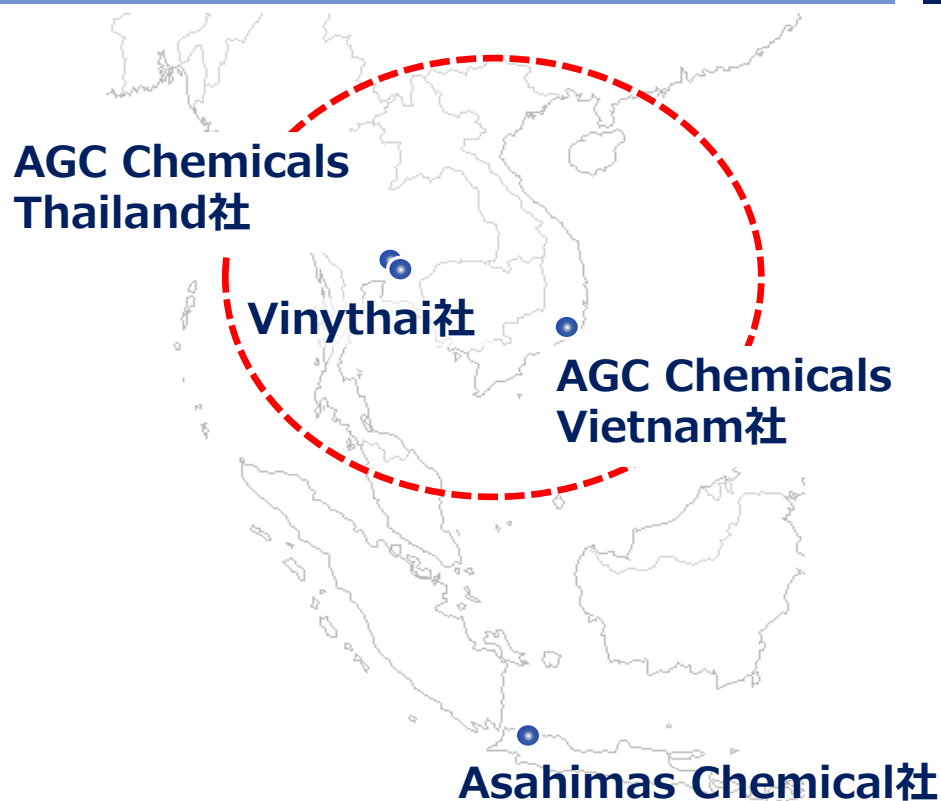
域内での競争優位性

- ・ 電解からPVCまでの一貫生産体制により蓄積してきたオペレーション技術による安定生産
- ・ インドネシア、タイ、ベトナムで域内最適生産が可能
- ・ タイの有力エチレンメーカーであるPTTGC社との連携を強化

中長期的に高い利益率を維持し、成長することが可能

- 東南アジアクロールアルカリ事業での高い市場ポジションをインドシナ3拠点の再編・統合により更に強化
- 高い市場ポジションで市場成長を取り込む

インドシナ3拠点の再編・統合

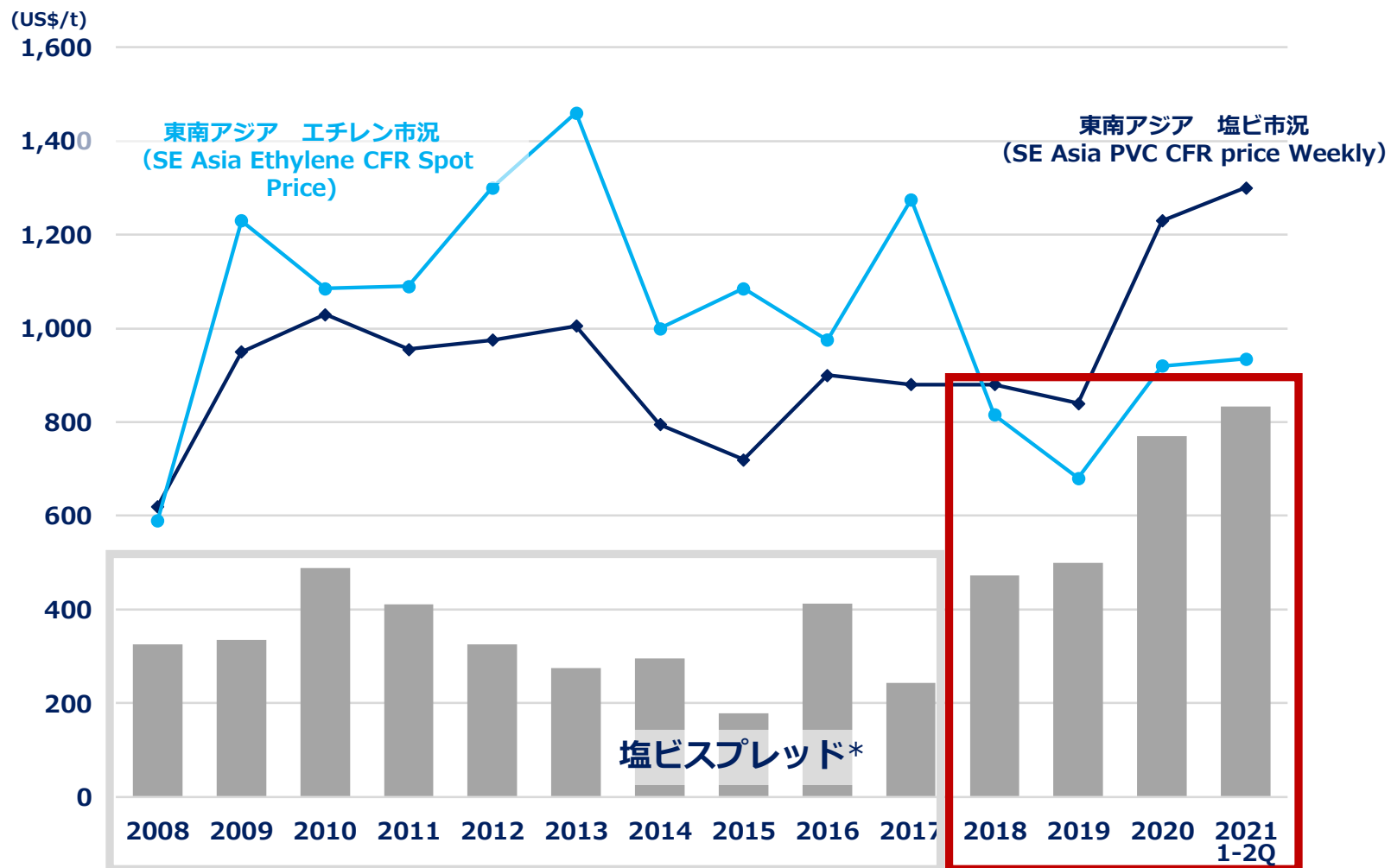


東南アジア生産能力ベースのシェア*



* 生産能力ベースシェア：苛性ソーダは域内に豪州/NZを含まず、塩ビは域内に豪州/NZを含む

■塩ビスプレッドは2018年以降拡大し、足下は高水準で推移



*塩ビスプレッド：塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)で計算

セグメント別 ROCE・EBITDA（2020年度末）

(億円)

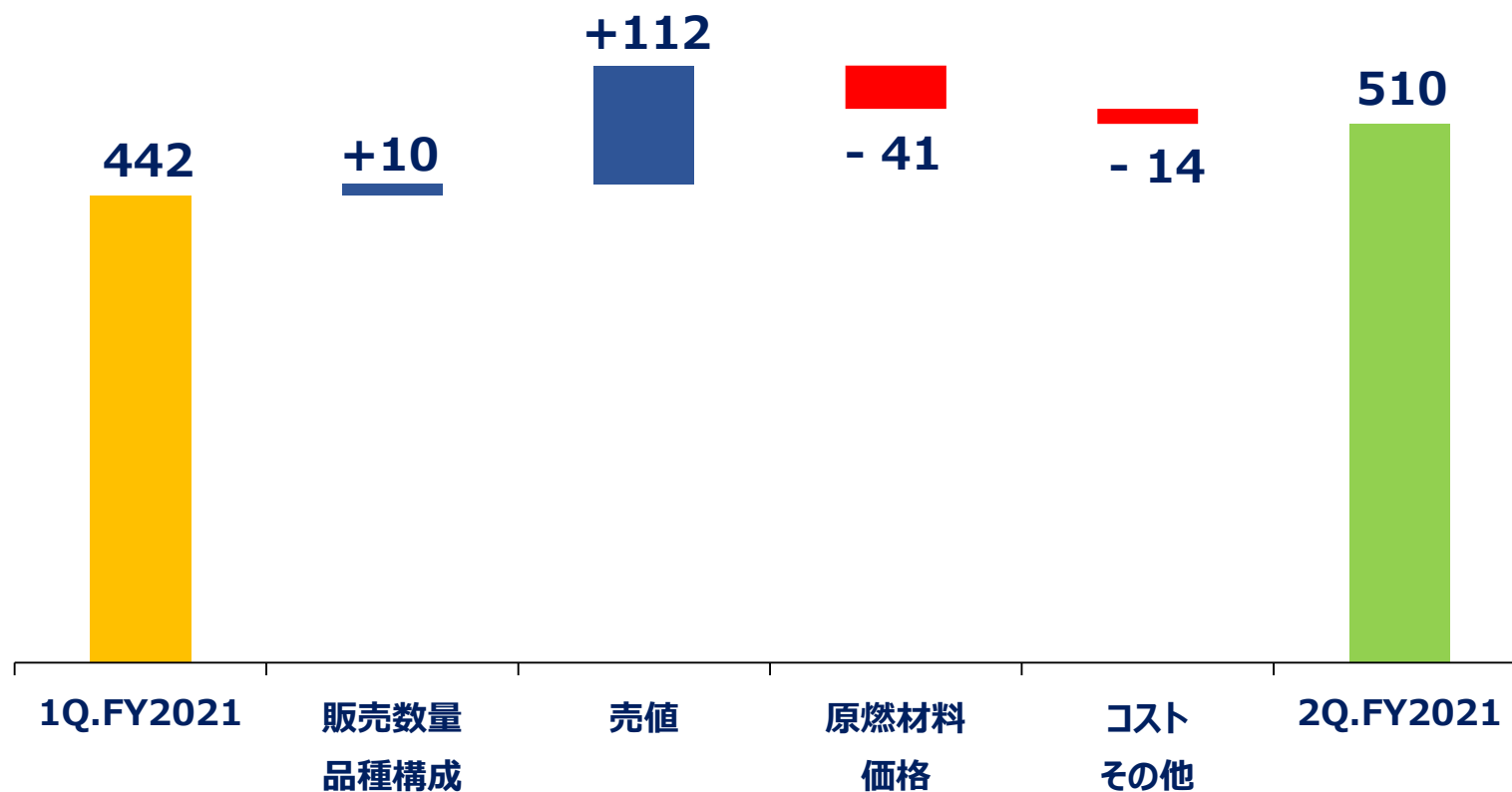
	営業利益	EBITDA	ROCE※	営業資産
ガラス	▲ 166	344	-	6,400
電子	378	857	6.3%	6,000
化学品	505	935	8.9%	5,700
セラミックス・その他	42	62	14.1%	300
消去ほか	▲1	▲2	-	-
合計	758	2,195	4.1%	18,400

※ROCEは2020年末時点の営業資産を元に計算

リスク要因	営業利益に対するインパクト	補足
為替	1%円高で <u>2億円</u> *減益	*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額
ドバイ原油	1バレルあたり1ドル上昇した場合、 <u>3億円</u> *減益	*オイルヘッジ影響除く
化学品 市況	①苛性ソーダ: 国際市況が\$ 1 下がると\$ <u>1M</u> の減益 ②塩ビスプレッド: \$ 1 下がると\$ <u>1.2M</u> の減益*	*塩ビスプレッド: 塩ビ市況 - (エチレン市況 × 0.5)

営業利益増減要因分析(2Q.FY2021 vs. 1Q.FY2021)

前四半期比 68 億円増益



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	2 Q .FY2021	288	155	548	-	991
		2 Q .FY2020	253	97	355	-	706
	自動車ガラス	2 Q .FY2021	490	157	268	-	915
		2 Q .FY2020	331	68	136	-	534
		2 Q .FY2021	778	313	816	6	1,912
		2 Q .FY2020	584	165	491	8	1,249
電子	2 Q .FY2021	620	63	3	20	705	
	2 Q .FY2020	620	57	3	13	693	
化学品	2 Q .FY2021	1,208	94	203	4	1,508	
	2 Q .FY2020	780	70	129	5	983	
セラミックス・その他	2 Q .FY2021	82	-	-	109	191	
	2 Q .FY2020	71	-	-	113	185	
消去	2 Q .FY2021	-	-	-	▲ 139	▲ 139	
	2 Q .FY2020	-	-	-	▲ 139	▲ 139	
合計	2 Q .FY2021	2,687	469	1,021	-	4,178	
	2 Q .FY2020	2,055	292	623	-	2,970	

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1-2 Q .FY2021	567	281	1,036	-	1,883
		1-2 Q .FY2020	544	196	767	-	1,507
	自動車ガラス	1-2 Q .FY2021	1,003	298	521	-	1,822
		1-2 Q .FY2020	796	228	400	-	1,423
		1-2 Q .FY2021	1,570	579	1,557	12	3,717
		1-2 Q .FY2020	1,340	424	1,167	12	2,942
電子	1-2 Q .FY2021	1,255	116	5	39	1,415	
	1-2 Q .FY2020	1,240	105	6	34	1,386	
化学品	1-2 Q .FY2021	2,276	200	399	7	2,881	
	1-2 Q .FY2020	1,703	152	261	8	2,124	
セラミックス・その他	1-2 Q .FY2021	157	-	-	210	367	
	1-2 Q .FY2020	148	-	-	234	382	
消去	1-2 Q .FY2021	-	-	-	▲ 268	▲ 268	
	1-2 Q .FY2020	-	-	-	▲ 289	▲ 289	
合計	1-2 Q .FY2021	5,257	895	1,961	-	8,113	
	1-2 Q .FY2020	4,431	682	1,433	-	6,545	

通期業績予想

(億円)

	FY2020		FY2021 通期予想(8/2予想)		増減		FY2021 通期予想(4/12予想)		増減	
	(a)		(b)		(b)-(a)		(c)		(b)-(c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	6,510	▲ 166	7,400	350	+ 890	+ 516	7,400	330	+ 0	+ 20
電子	2,894	378	3,200	330	+ 306	▲ 48	3,200	300	+ 0	+ 30
化学品	4,512	505	5,800	1,100	+ 1,288	+ 595	5,600	950	+ 200	+ 150
セラミックス・その他	811	42	800	20	▲ 11	▲ 22	800	20	+ 0	+ 0
消去	▲ 603	▲ 1	▲ 500	0	+ 103	+ 1	▲ 500	0	+ 0	+ 0
連結合計	14,123	758	16,700	1,800	+ 2,577	+ 1,042	16,500	1,600	+ 200	+ 200

(億円)

ガラス	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21
売上高	1,890	1,840	1,837	1,693	1,249	1,717	1,851	1,806	1,912
建築用ガラス	890	875	905	801	706	840	901	891	991
自動車用ガラス	996	963	923	889	534	869	943	908	915
(セグメント間)	5	3	9	3	8	7	7	7	6
営業利益	39	23	▲ 4	▲ 26	▲ 182	▲ 12	53	97	106

電子	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21
売上高	652	761	760	692	693	715	792	710	705
ディスプレイ	441	449	460	433	433	448	458	461	429
電子部材	185	283	276	238	247	257	316	230	257
(セグメント間)	26	28	24	22	13	10	19	19	20
営業利益	35	109	87	89	85	99	106	86	54

化学品	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21
売上高	1,158	1,197	1,275	1,142	983	1,091	1,296	1,373	1,508
クローラルカリ・ウレタン	710	745	768	695	559	632	755	822	940
フッ素・スペシャリティ	299	302	311	283	247	250	278	269	299
ライフサイエンス	146	147	193	160	173	207	260	279	265
(セグメント間)	4	4	3	4	5	3	3	3	4
営業利益	118	177	191	151	75	98	180	255	340

数量・価格動向

					2020				2021		
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
前年同四半期比 (YoY)											
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量		-数%	-1割弱	+1桁半ば	+数%	+1割	+1割強	
			価格(日)		+数%	+1桁半ば	+数%	+数%	横ばい	横ばい	
		北米	数量		-1割弱	-約2割	+数%	+1割強	+10%台半ば	+3割強	
			価格		-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	-1桁半ば	+数%	+約1割	
		欧州	数量		横ばい	-約2割	+数%	-1桁半ば	微増	+約3割	
			価格		-1割強	-2割強	-2割弱	-数%	+1割弱	+4割弱	
	自動車用生産台数 (IHS Markit 6/16データより)	日本	数量		-7%	-48%	-12%	+4%	-5%	+52%	
			北米	数量		-11%	-68%	+0%	+0%	-5%	+138%
			欧州・ロシア	数量		-17%	-60%	-7%	+1%	+1%	+98%
	電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積		0%	+5%	+12%	+7%	+17%	+12%
市況実績値											
化学品	東南アジアクロアリ (Bloombergより)	苛性ソーダ	価格	USD/MT	290	290	275	266	306	346	
			PVC	価格	USD/MT	805	790	970	1,230	1,580	1,320
			エチレン	価格	USD/MT	500	800	805	920	985	860

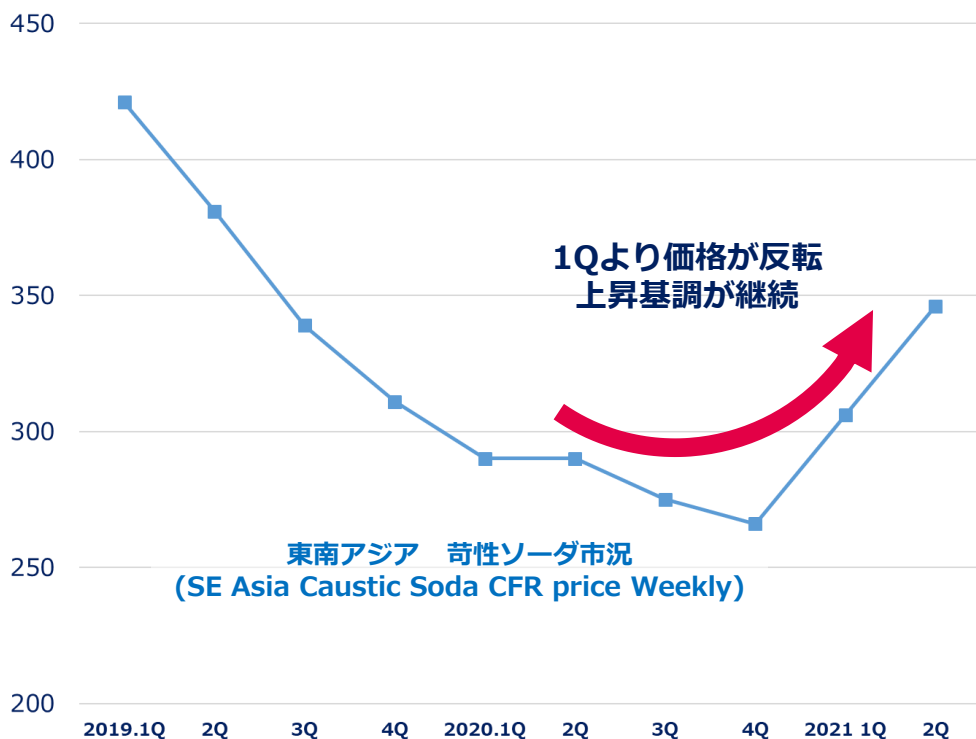
*Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 1Q21 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

(ご参考) 東南アジア 苛性ソーダ、塩ビ市況

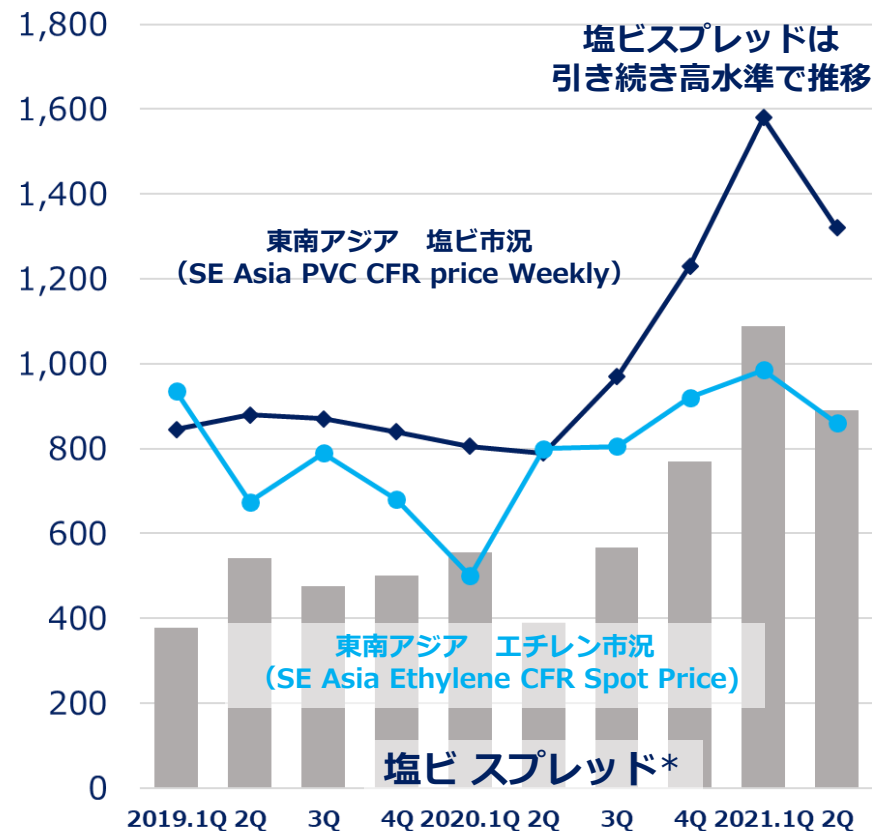
苛性ソーダ市況

(US\$/t)



塩ビ市況

(US\$/t)



*塩ビスプレッド：塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)で計算

		IFRS				
		16/12	17/12	18/12	19/12	20/12
売上高	百万円	1,282,570	1,463,532	1,522,904	1,518,039	1,412,306
営業利益	百万円	96,292	119,646	120,555	101,624	75,780
営業利益率	%	7.5	8.2	7.9	6.7	5.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	47,438	69,225	89,593	44,434	32,715
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	4.3	6.1	7.7	3.9	2.9
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.8	5.7	5.4	4.4	3.1
自己資本比率	%	55	53	51	50	44
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.37	0.38	0.43	0.47	0.63
営業CF/有利子負債	倍	0.47	0.42	0.35	0.32	0.29
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	205.14	302.12	399.51	200.85	147.84
一株当たり配当金	円	90	105	115	120	120
EBITDA *4	百万円	195,767	249,880	259,425	231,857	208,459
為替レート (期中平均)	円/ドル	108.84	112.19	110.43	109.05	106.82
	円/ユーロ	120.33	126.66	130.42	122.07	121.81

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください。 https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの主な素材・ソリューション

気候変動問題への対応

建築用ガラス、グリーン冷媒、自動車用赤外線カットガラス、バイオマス炉材等

資源の有効利用

燃料電池用部材、リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

社会インフラの整備

建築用ガラス、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダ、重曹、塩ビ等

安全・快適なモビリティの実現

自動車用ガラスアンテナ、車載センシング・レーダー用部材、HUD部材等

情報化・IoT社会の構築

建物窓取付アンテナ、半導体製造用部材、ディスプレイ用ガラス、高速通信用部材等

食糧問題への対処

農薬原体・中間体、農業温室ハウス用フィルム等

健康・長寿社会への対応

医薬品原体・中間体、高速通信用部材、水処理用高機能膜等

社会的価値

関連するSDGs

持続可能な地球環境の実現
への貢献



安全・快適な都市インフラの
実現への貢献



安心・健康な暮らしの実現
への貢献



サステナビリティ“健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

気候変動問題への対応

資源の有効利用

社会・環境に配慮した
サプライチェーン

地域社会との関係・
環境配慮

公正・平等な雇用と
職場の安全確保

AGCグループの企業活動

継続的な省エネ対策実施、GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

再生原材料や再生資材の活用、埋立て処分の削減 等

人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

水使用量削減、生物多様性保全、環境事故撲滅、地域のファン作り 等

従業員エンゲージメントの向上、重篤災害・休業災害の発生防止 等

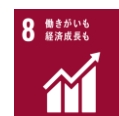
社会的価値

持続可能な地球環境の実現
への貢献

健全・安心な社会の維持
への貢献

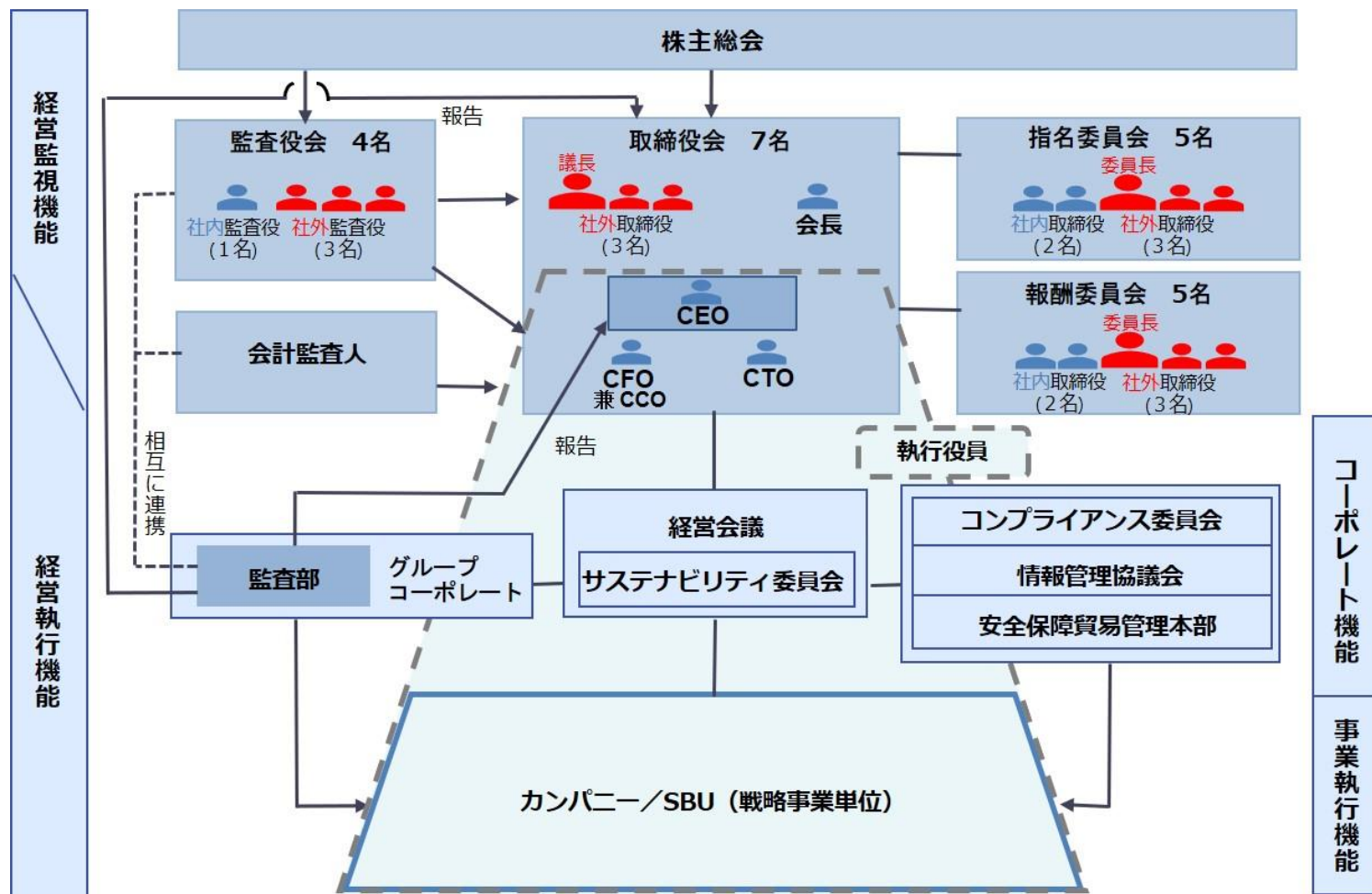
公正・安全な働く場の創出
への貢献



関連するSDGs



当社のコーポレートガバナンス体制

< 2021年3月30日からの体制 >



 : 社内出身の取締役又は監査役
 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役

FTSE4Good Index Seriesに選定



FTSE Blossom Japan Indexに選定



女性活躍推進に優れた企業を選定する
「なでしこ銘柄」に昨年に引き続き選定



「日経スマートワーク大賞2021 審査委員特別賞」を受賞



「健康経営優良法人2021ホワイト500」
に選定



EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得
鹿島工場：「PLATINUM」
千葉工場、AGCファーマケミカルズ：「GOLD」



Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2021
に選定

企業としてのデジタル化を評価され、
「DX注目企業2021」に選定

発表日	内容
1月14日	セントラル株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る協議の中止に関するお知らせ
1月26日	メタサーフェス技術により窓ガラスの電波レンズ化に世界で初めて成功
2月3日	海外に拠点を持つ法人への5Gソリューション展開をめざしたコンソーシアムの設立に向け基本合意
2月5日	新たな経営方針、長期経営戦略および中期経営計画を策定
2月16日	A G C 千葉工場、5Gを見据えてプライベートLTEネットワークを導入
3月3日	AGC Biologicsミラノ拠点、遺伝子・細胞治療CDMOの培養能力を増強
3月19日	インドシナ半島のクロール・アルカリ事業 3 社の統合再編を決定
4月12日	建築用ガラス事業の組織改正を実施
4月26日	原燃材料の自動管理システム「Smart Inventory System」を開発
5月25日	化学品プラントにデータ分析プラットフォームAlteryxを導入
6月8日	新型コロナワクチン向けプラスミドDNAの製造を受託
6月15日	北米建築用ガラス事業の譲渡に関するお知らせ
7月2日	AGC Biologics 社、米国における遺伝子治療薬工場の買収契約締結
7月15日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。